

2013年2月21日
日立化成株式会社
新神戸電機株式会社

新神戸電機の営業、事業企画、研究開発を日立化成に移管統合 - 両社のシナジーを最大化し、グループ事業の強化・拡大を加速 -

日立化成株式会社（本社：東京、執行役社長：田中一行、以下、日立化成）および新神戸電機株式会社（本社：東京、取締役社長：伊藤繁、以下、新神戸電機）は、2013年4月1日付で新神戸電機の営業、事業企画、研究開発部門を日立化成に移管統合することとしました。これにより、新神戸電機は製品の開発・設計機能を持つ製造会社となります。

1. 目的

日立化成グループでは、高い成長が見込まれ、当社の技術的な強みが発揮できる「情報通信・ディスプレイ」、「環境・エネルギー」、「ライフサイエンス」、「自動車・交通インフラ」の4事業領域を中心に、顧客への最適なソリューションの提供を強力に推進してきました。その体制強化の一環として、日立化成は昨年、新神戸電機を完全子会社化し、さらなる事業拡大に取り組んできました。

両社のシナジー効果の最大化に向け、検討を行った結果、新神戸電機が担当する産業用電池および機器製品、自動車用電池、電動車用電池、コンデンサ、蒸着製品、各種成形品、電子材料積層品、シート品の営業、事業企画、研究開発部門を、日立化成に移管統合し一体化を図ることにより、以下の効果が発揮できると判断しました。

- (1) 日立化成グループは海外に製造・販売等の事業拠点を多数有しています。そのネットワークを活用し、海外現地での営業・技術サービス体制等を迅速に整備・構築することにより、移管対象事業に関し、顧客のグローバル展開における様々なニーズに対応することが可能となります。
- (2) 日立化成が有する材料技術等の広範な基盤技術を活用し、新神戸電機の既存製品の特性向上および新規製品開発の加速を通じて、顧客の幅広い要望に対応するためのソリューション提案力を一層強化することが可能となります。
- (3) 新神戸電機は、製品の開発・設計機能を持つ製造会社となり、日立化成グループの中核事業を大きく担う会社として、モノづくりをベースに開発力やシステムエンジニアリング力を強化することが可能となります。

2. 移管対象部門の範囲

産業用電池および機器製品、自動車用電池、電動車用電池、コンデンサ、蒸着製品、各種成形品、電子材料積層品、シート品に関する営業、事業企画および研究開発部門^(*)。

*1 電池関連の研究開発部門は2012年10月1日付で日立化成に移管統合済み。

3. 今後の日程

2013年2月下旬 : 当事会社間の事業統合に関する最終契約締結（予定）

2013年4月1日 : 統合期日（予定）

4. 当事会社の概要

商号	日立化成株式会社	新神戸電機株式会社
本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目 9番2号 ^(※2) (グラントウキョウサウスタワー)	東京都中央区明石町8番1号 (聖路加タワー)
代表者	執行役社長 田中 一行	取締役社長 伊藤 繁
事業内容	機能材料および先端部品・システムの製造、販売	産業用電池および機器製品、自動車用電池、電動車用電池、コンデンサ、蒸着製品、各種成形品、電子材料積層品、シート品の製造、販売
資本金	154億5,436万円	25億4,677万5千円
大株主 (持株比率)	株式会社日立製作所 51%	日立化成株式会社 100%

(2012年9月末時点)

※2 2013年1月1日時点

5. 日立化成の業績への影響

本件が日立化成の業績に与える影響は、100%子会社との間における部門移管のため主に単独決算上発生するものであり、連結決算では軽微であると考えています。

以 上

(報道関係お問い合わせ)

日立化成株式会社 コーポレートコミュニケーションセンタ 広報・IRグループ 岡村、磯田 TEL 03-5533-7144

新神戸電機株式会社 CSR環境安全本部 岡本、中川 TEL 03-6811-2360